

Learning Guide

Chiba Institute of Technology

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

学びのハンドブック



千葉工の歴史

日本でもっとも古い!?

スタディ・スキルズ

高校との違いって?

学生生活について

より良い学生生活を送るために

[千葉工業大学]

はじめに

千葉工業大学入門

1 歴史

p.3 日本で最も古い私立理工系大学です!

2 新習志野キャンパス施設マップ

3 みんなのQ&A

p.5 大学生活が不安です…
どの授業を履修すればいいですか?

p.6 授業には何が必要ですか??
授業についていけるか不安です…

千葉工業大学入門

1 歴史

≫ 日本で最も古い私立理工系大学です！

千葉工業大学は、1942年（昭和17年）5月15日に興亜工業大学（旧字体では興亜工業大學）の名称で玉川学園内に設立されました。日本の私立理工系大学（私立の理工系専門の単科・総合大学）としては藤原工業大学（現在の慶應義塾大学理工学部の前身）に続き2番目（合併などない現存私大としては最古）、国立を含めても東京工業大学に次ぐ歴史を持っています。

1946年（昭和21年）に千葉県君津市に移転して「千葉工業大学」と改名しました。その後、1950年（昭和25年）に千葉県習志野市の津田沼校舎に移転し、現在に至ります。現在は津田沼キャンパス、新習志野キャンパス及び東京スカイツリーキャンパスの3つのキャンパスを有しています。

※もっと詳しく知りたい人は

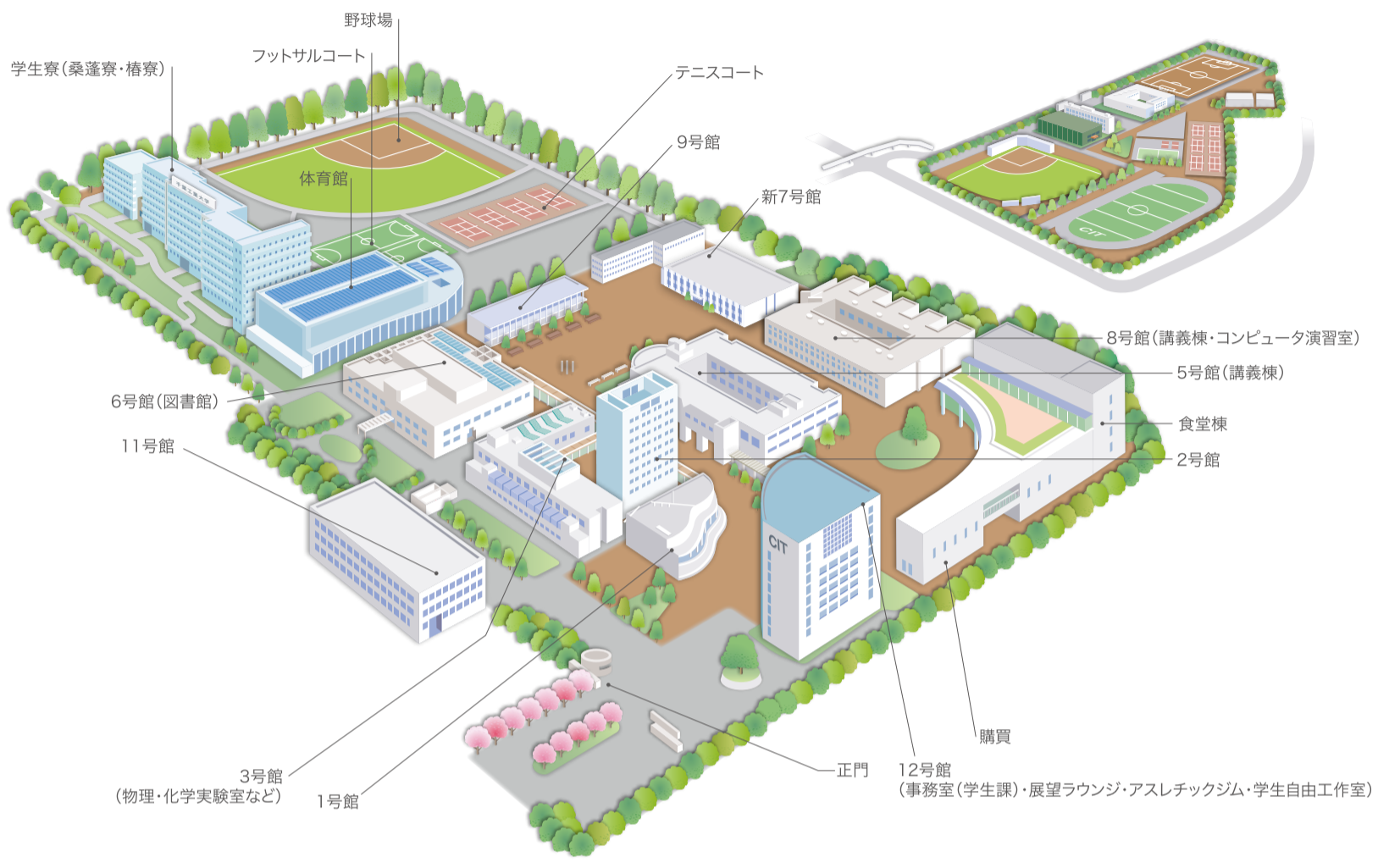
<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/disclosure/history/>

●建学の精神

世界文化に技術で貢献する

2 キャンパス施設マップ

●新習志野キャンパス



●津田沼キャンパス



3 みんなのQ&A



Q 大学生活が不安です…

A 大学では、何を学ぶかも、どう過ごすかも、自分で決めることになります。勉強やクラブ・サークル活動以外にも興味をもったことにどんどんチャレンジしてみるとよいでしょう。また、学生サポートセンターで先輩の話を聞けるので、参考にするのもよいでしょう。大学生活が、充実した楽しいものになることを願っています。

Q どの授業を履修すればいいですか？

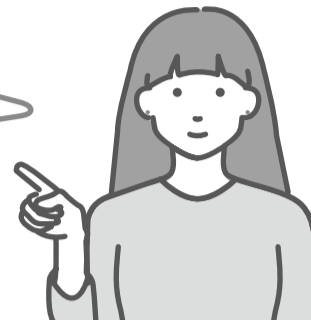
A 卒業に必要な単位数が取れるように、履修のガイダンスや履修要項、カリキュラムツリーを参考にし、必修科目から埋めていきましょう。また千葉工大は1年間で履修できる単位が決まっているので注意しましょう。上級学年になると研究活動が多くなったり、就職活動などで忙しくなるので、履修した科目は全て単位を取れるように努力することが重要です。

[参照→ p.11](#)



Q 教科書はどのように用意するのですか？

A シラバスには、授業で使う教科書が記載されています。また、1回目の授業でも先生から説明があります。購入は学期初めに、学内の書店「CITサービス（購買部）」に、教科書を売る特設コーナーが設置されるのでそこで申し込むといいでしょう。参考図書はたいてい図書館にあるので、図書館で読んでみてから、必要かどうか判断すればいいでしょう。



Q 授業についていけるか不安です…

A 課題や試験をきちんとこなせば、単位を取ることは難しくありません。評価基準は、シラバスに載っています。万が一単位を落としたとしても、進級や卒業に必要な条件を満たしていれば、留年にはなりません。翌年、同じ科目を受け直すこともできますし、必修科目でなければ、ほかの科目を受けることもできます。

参照→ [p.11](#)



第1部

スタディ・スキルズ

1 はじめての大学生活

- p.8 大学生に求められること
- p.9 「自ら学ぶため」のスタディ・スキルズ
大学生活のスタート
- p.10 大学と高校の違い
- p.11 時間割を決める
- p.12 いよいよ授業のスタート
- p.13 教科書について

2 講義の受け方

- p.14 ノートのとり方
- p.15 大学でのノートのとり方のPOINT

3 レポートの書き方

- p.16 レポートって何だろう?
- p.17 レポートのルール

4 ゼミ発表の仕方

- p.21 ゼミ発表って何だろう?
- p.22 ゼミ発表をすることになったら
- p.23 発表の注意点
- p.24 質疑応答の注意点
- p.25 聞き手の心得

第1部

スタディ・スキルズ

1 はじめての大学生活

≫ 大学生に求められること

大学では、時間割を自分で決めたり、レポート課題が多くなったりと、学校の仕組みや勉強の仕方の点で、高校までとは違うところがたくさんあります。なぜ、そのような違いがあるのでしょうか。その理由は、高校生と大学生の「呼ばれ方の違い」に見ることができます。中学・高校生は「生徒」と呼ばれますが、大学生になると「学生」と呼ばれますね。これは次のような違いを表しています。



高校生

大体の学校で制服がある
呼ばれ方は「生徒」
受け身の姿勢で広い分野を勉強する



大学生

服装は自由
呼ばれ方は「学生」
積極的な姿勢で専門的な分野を学ぶ

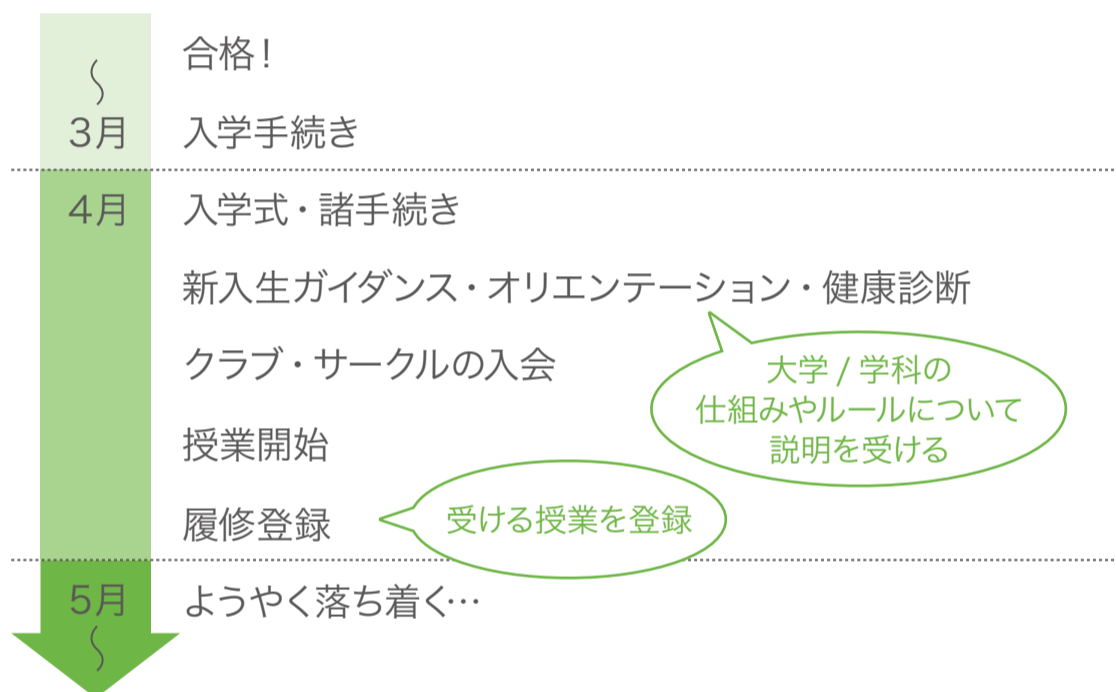
高校までの勉強は、教えてもらったことを覚えることが多くなかったですか？もしかすると、知らず知らずのうちに受身の態度になっていたかもしれません。ところが大学では、自分で問題を設定し、自分で調べ、自分なりの答えを出すことも求められます。その現れが、自分で時間割を決めることであり、自分なりの問題設定や主張が求められるレポート課題であるわけです。

≫ 「自ら学ぶため」のスタディ・スキルズ

勉強に取り組む姿勢が変わりますから、当然、勉強の仕方も「自ら学ぶ」ためのものに変えなければいけません。この本では、大学生の「学問の技術（スタディ・スキル）」について学びますが、このスタディ・スキルが「自ら学ぶ」ためのものだということが分かっているならば、戸惑いも少ないでしょう。この「自ら学ぶ」ためのスタディ・スキルは、大学での4年間だけでなく、社会に出てからも求められるものです。しっかりと身につけてください。

≫ 大学生活のスタート

合格が決まってから大学の授業が本格的に始まるまでのスケジュールは、大体このような流れです。



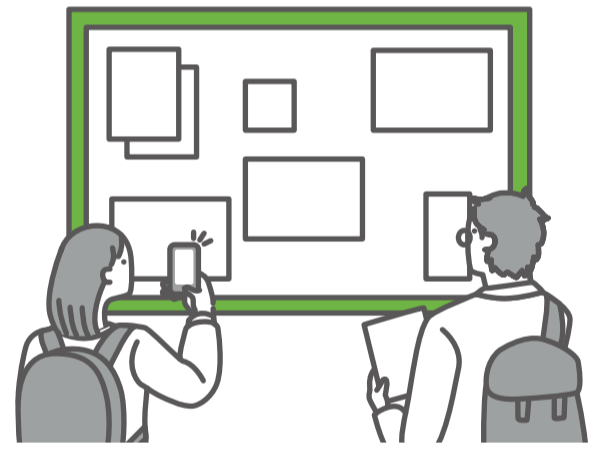
「新入生ガイダンス」や「オリエンテーション」、「履修登録」など、あまり聞き慣れない言葉も見られますね。大学の仕組みは高校までと違うところがたくさんあります。どんなところが違うのか、見ていきましょう。

≫ 大学と高校の違い

●「自由」だけど「責任」も生まれる

高校までは、クラス担任の先生が学校生活に関する面倒をみてくれましたが、ホームルームのない大学ではそうはいきません。時間割などを自由に決められる反面、受ける授業の登録（履修登録）や必要な授業の確認などを、自分の責任でしなくてはなりません。特に大学の情報や重要な手続きを見逃さないためには、毎日、**掲示板を見る**ことがとても大切です▶。

高校		大学
クラスごとに時間割があり、受ける授業が決まっている。	時間割	受ける授業を自分で選んで登録し、自分だけの時間割を作る。
クラスごとに決まった教室があり、科目ごとに先生が教えに来る。	教室	自分で選んだ授業ごとに、 違う教室に移動する ▶。
50分	授業時間	120分



毎日掲示板を見ましょう！

●「学び方」も変わる！

大学は「自ら学ぶ」ための場所という説明は前にもしたとおりです。高校と違う点で最大のポイントは、法律上で単位を修得するために必要な学習時間に予習と復習の時間が含まれていることです。つまり、自ら学習することが義務付けられているのです。具体例には標準的な2単位の科目に必要な予習・復習時間は週5時間となります。時間割を決める時には、そのことも踏まえて計画することが必要になります。

▶ 掲示板はとても重要です！！

必要な情報は掲示板やポータルサイトで掲示されます。掲示の見落としで不利益が生じても自分の責任になりますので、「大学に行ったらまず掲示板とポータルサイトを見る」という習慣をつけましょう。

▶ 授業はいろいろな人と一緒

授業によっては他学部や他学年の人と一緒にすることもあります。

≫ 時間割を決める

授業は4年間で卒業に必要な**単位**▶を満たすように選びます。卒業に必要な単位は124単位が基本です。1科目2単位として、1年で32単位(1学期あたり16単位)の修得を目ざすとすると、1学期あたり8科目程度を選択すればよいことになります。進級に必要な条件にも十分気をつけましょう。

● 必修科目から埋めてバランスよく

自分で選べるといっても、必ず履修しなければいけない科目(必修科目)もあります。ほかにも、**資格**▶を取るために必要な科目もあります。**シラバス**▶をよく読んで、必要な授業から時間割表を埋めていき、それ以外の時間で受けられる授業を選んでいきます。特定の曜日に予習・復習の時間も取れるように計画して組立ましょう。

● 時間割を決めたら履修登録(事前に履修計画書を作成しておきます。)

受ける授業を決めたら登録が必要です。それが「履修登録」です。登録しなければ、単位は取得できません。履修登録は、インターネットを通じて行います。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1・2限	スポーツ科学 (卓球)	数理・DS・AI入門	英語科目1	数学基礎	英語科目2	
	単位数:2 (CAP除外□)	単位数:2 (CAP除外□)	単位数:1 (CAP除外□)	単位数:2 (CAP除外□)	単位数:1 (CAP除外□)	
3・4限	線形代数 基礎	教養科目1	言語と文化1	数学基礎	日本語 表現法	教職概論
	単位数:2 (CAP除外□)	単位数:2 (CAP除外□)	単位数:2 (CAP除外□)	単位数: (CAP除外□)	単位数:1 (CAP除外□)	単位数:2 (CAP除外■)
6・7限		専門科目1	専門科目2		物理学基礎	
		単位数:2 (CAP除外□)	単位数:2 (CAP除外□)		単位数:2 (CAP除外□)	
8・9限		初年次/キャリア 8限のみ			物理学基礎	
		単位数:1+1 (CAP除外■)			単位数: (CAP除外□)	

緑:必修科目 黒:選択科目 青:教職科目

詳しい修学情報は <http://kmsk.is.it-chiba.ac.jp/portal>

▶ 単位

授業を受けて試験に合格すれば、単位を取得できます。1年間で2学期に分ける場合、1学期間の授業で20単位が標準です。

▶ 千葉工大で取れる資格

所定の単位を修得することで、学校教諭免許や建築士、電気主任技術者などの資格を得ることもできます。

▶ シラバス

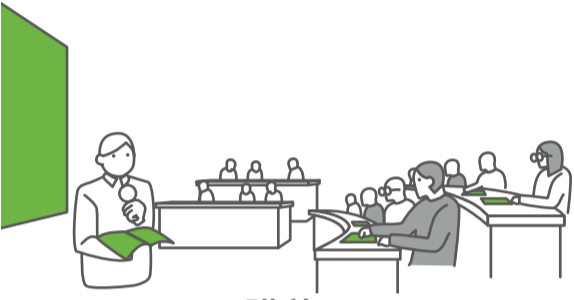


その年に開講される授業の内容や計画が詳しく載っているもの。

≫ いよいよ授業のスタート

入学してオリエンテーションがすめば、さっそく授業が始まります。授業もやはり、高校までとはいろいろなところが違います。

● 大学は授業の形式もいろいろ

大学の授業は、次の3つに分けられます。レポートやプレゼンテーションなど、高校までとは違う「学問の技術（スタディ・スキルズ）」が大切になってきます。

形式	内容と必要なスタディ・スキルズ
 <p>講義</p>	<p>先生が教壇に立って授業をする。1・2年次の全学共通科目に多い。 →講義の受け方 (14 ページ)</p>
 <p>ゼミ討論</p>	<p>学生が調べてまとめたことを口頭発表し、それについてみんなで議論する。3・4年次の専門科目に多い。レポート課題もよく課される。 →レポートの書き方 (16 ページ) →ゼミ発表の仕方 (21 ページ)</p>
 <p>実験・実習</p>	<p>実際に体験したり、仮説の検証のために調査や実験をしたりする。調査や実験の結果はレポートにまとめる。 →レポートの書き方 (16 ページ)</p>

また、どの授業形式にもあてはまることですが、「専門的な文章」を読む機会が増えます。

詳しい授業の内容（シラバス）は

<http://risyu.is.it-chiba.ac.jp/syllabus/syplsso100>

≫ 教科書について

●大学の教科書ってどんなもの？

高校までは学習内容が決められていて、教科書もその内容に沿った専用のものでした。それに対して大学では、ふつうの書店でも扱われている学術書や入門書が、教科書として指定されます。学生は、自分が選んだ授業の教科書を確認して、大学内の書店『CITサービス(購買部)』に自分で買いに行きます。

●教科書がない授業もあるの？

大学では、先生が独自に授業内容を考えます。授業の名前が同じでも、先生が違えば、教科書が違うこともあります。教科書の扱いもさまざまで、教科書は指定しても内容通りには進めない先生もいれば、最初から教科書を指定しない先生もいます。

●学術的な文章は怖くない

大学では、学術書や専門書、論文などの、学術的な文章を読む機会が増えます。難しくそうで不安に思うかもしれませんが、学術的な文章には決まった「形式」があるので、その形式さえ知っていれば、読むことはそんなに難しいことはありません。学術的な文章は、筆者の「主張」と、それを裏づける「根拠」が、明確に示された文章で、多くの場合「序論」「本論」「結論」という3部構成をとっています。

2 講義の受け方

≫ ノートのとり方

● 高校の授業と大学の講義の違い

大学の授業形式のうち「講義」は、先生が教壇に立ち板書しながら授業を行うので、比較的高校までの授業に近いように思えます。しかし、高校の授業と大学の講義には次のような違いがあるので、ノートのとり方もこれまでと同じではうまくいきません。

高 校		大 学
板書中心	授業の 進め方	・話すこと中心 ・アクティブラーニング（※1）
科目によって学習内容が決められている。 →教科書に沿って授業が行われる。	授業と 教科書	先生が独自に授業を考え、教科書も指定する。 →教科書に沿って授業を行うとは限らない。
大事なポイントは先生が黒板に書いてくれる。	黒板の 使い方	使わない先生もいる。

● 黒板を写すだけではダメ

高校では、「先生が黒板に書いたとおりに」写すことが大切でした。大学では、そもそも先生が黒板を使わない場合もあります。先生の話聞きながら、「自分でポイントを見つけて」書きとめていくことが必要なのです。

（※1）アクティブラーニングとは、グループディスカッション、グループワーク、ディベートなどを組み合わせて、教員と学生と一緒に授業を進めていく授業形式の総称です。

▶ 大学の授業形式

- ① 講義
 - ② ゼミ（演習）
 - ③ 実習・実験
- の3つ。（→ 12 ページ）

▶ 大学の教科書 → 13 ページへ

一般書店でも扱われている学術書や入門書が教科書として指定されます。学生は大学内の書店 [CIT サービス（購買部）] に自分で買いに行きます。

≫ 大学でのノートのとり方のPOINT

● 講義内容が思い出せるように

ノートのとり方の基本は、先生の話す内容をその場でおおまかに理解し、ポイントを書きとめておくことです。あとで見返したときに、その講義の内容が思い出せるようなノートが理想的です。特に大事なポイントは、強調されたり繰り返し言われたりします。先生の話をよく聞きましょう。

● ノートの完成は講義のあとで

講義内容を思い出せるようにと言っても、先生の話全てを書きとめる必要はありません。むしろ書くことに気をとられて理解がおろそかになってしまうと、いいノートにはなりません。あとでも調べられることは、とりあえずスペースを空けておいて、講義後に復習しながらノートを完成させていけばよいのです。

● 試験にも役立つノート作りを▶

大学では高校までとは試験の内容も変わりますが、講義の要点について問われることには変わりありません。大学の授業は教科書に沿って行われるとは限りませんからその場合、試験前はノートだけが頼りになります。「自筆のノート持ち込み可」という試験すらあります。先生が強調していたことを思い出せるようなノート作りができていると、心強いでしょう。

ノートまとめの一例

板書の写し。
図は大きく書こう。

先生が話したこと、
補足事項など。

配付資料の貼り付け。
復習時に教科書や参考書で
調べた内容を書き加える。
講義での問題点を解決する。

自分なりの見やすいノートの作り方を
見つけてみよう！

▶ 試験におけるノートなどの使用について

授業の途中や最後又は授業終了後に多くの授業で試験が行われます。ノートや資料の持ち込みなどは授業の教員によって異なるので、指示内容を良く聞いて必ずその指示に従いましょう。指示を聞き忘れて持ち込み不可のものを机の上に置いていると不正行為になります。そうなった場合、その科目だけでなく履修中の全ての科目が不合格となりますので、注意しましょう。

3 レポートの書き方

》レポートって何だろう？

レポートとは、「根拠にもとづいて主張を述べた文章」のことです。基本的には「短めの論文」だと考えればよいでしょう。大学では、「～について実験し、その結果を考察しなさい」、「～に関連して、2000字程度で自由に書きなさい」といったレポート課題が、さまざまな場面で出されます。



レポートが課される場面

● 感想文とレポートの違い

大学のレポートは、小・中学校で書いたような感想文とは違います。次のような違いに気をつけましょう。

感想文		レポート
感じたまま表現する	内容	「主張」とそれを支える「根拠」を述べる
書きたい順序で	構成	決まった形式に沿って
主観的・個人的に	視点	客観的・一般的に

≫ レポートのルール

- ルール① 決まった形式を守る
- ルール② 3部構成で組み立てる
- ルール③ 主張の「根拠」を示す
- ルール④ 「先行研究」をふまえる

● ルール① 決まった形式を守る

「である調」で、話し言葉は使わない

レポートでは、「です・ます調」ではなく、「である調」に統一します。話し言葉も使わないようにします。

指定された体裁を守る

レポート課題では、「2000字程度」、「400字詰め原稿用紙で4枚」などの「分量」が指定されます。「2000字程度」であれば、プラス・マイナス10%の範囲内の1800～2200字、「原稿用紙4枚」であれば、4枚目の半分以上は書くようにしましょう。

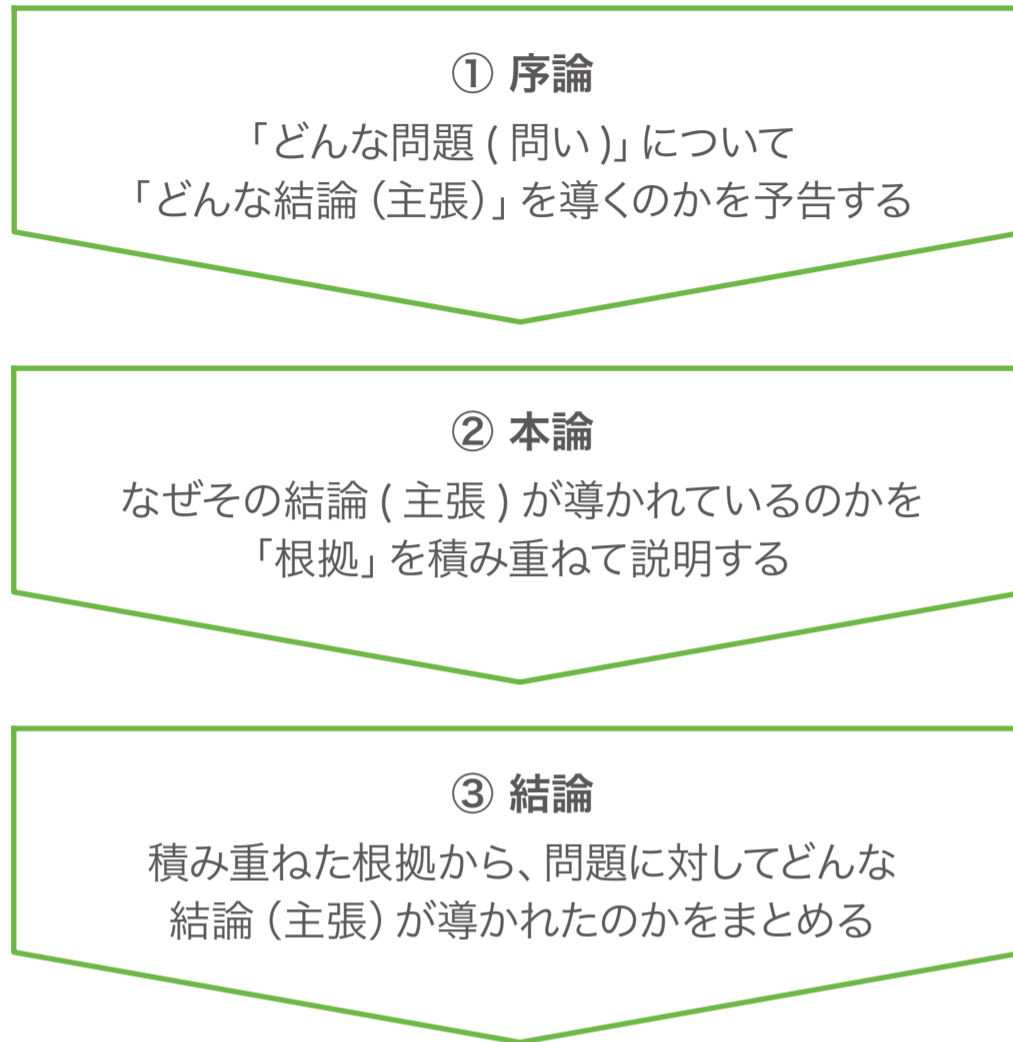
ほかにも、「横書き / 縦書き」、「表紙の有無」、「手書き / ワードプロ打ち」、「ワードプロの字詰め」などが指定されることがあります。指定を守らないと、提出を受け付けてもらえないこともあるので、よく確認しましょう。

最初に「表題」、最後に「参考文献」

レポートには3部構成のレポート本体のほかに、何を論じたものかを一言で表した「表題(タイトル)」を最初に、レポートを書く上で参照した本や論文をまとめた「参考文献」リストを最後につけます。

● ルール② 3部構成で組み立てる

「序論」「本論」「結論」の3部構成で



まず「結論」を述べる

「結論」はそのレポートでいちばん伝えたいこと、つまり「主張」です。結論は最後に述べるものと思うかもしれませんが、レポートではいきなり「①序論」で予告してしまいます。先に結末を示しておいてから、「なぜそうなるのか？」を「②本論」で明らかにしていくのがレポートの手法です。そして、「③結論」でもう一度、「結論」と「結論に至るまでの過程」をおさらいします。

● ルール③ 主張の「根拠」を示す

主張と根拠はセットで

レポートでは、自分なりに調べたこと、考えたことを主張することが大切です。しかし、単に「実は～なのだ」「私はこう思う!」と言い張るだけでは説得力がありません。その「主張」が正しい理由、すなわち「根拠」が示されていてはじめて、レポートは評価されます。

たとえば根拠を示すことなしに「大阪は外食文化が発達している」と主張しても、「単なるイメージじゃないの?」と思われるかもしれません。しかし、以下のような根拠が示されると、主張に説得力が備わります。

総務省統計局の『統計でみる都道府県のすがた 2019』によれば、大阪府は人口1千万人あたりの飲食店数が8.15店あり、全国平均の6.24店を大きく上回っている

「事実」と「先行研究」が根拠となる

主張を支える根拠として使えるのは、多くの人が正しいと認める客観的な「事実」です。「大阪府の人口1千人あたりの飲食店数は8.15店」のような統計資料も客観的な事実ですから、根拠になります。

もう1つは、ほかの人の主張です。論文や本の形で発表されている研究成果を「先行研究」といいます。先行研究でなされている主張も、あなたの主張を支える根拠として使うことができます。「先行研究をふまえる」こともレポートのルールの一つです(→ルール④)。

● ルール④ 「先行研究」をふまえる

レポートでは、これまでになされてきた主張、すなわち「先行研究」をふまえて、それに対して自分はどう考えるのかを示す必要があります。

「引用」をしよう

先行研究をふまえたレポートにするには、本や論文から「引用」をします。つまり、ほかの人の言葉や文章を借りてくるのです。「レポートにほかの人の文章を載せてもいいの？」と意外に思うかもしれませんが、適切な引用は、そのテーマについてよく調べたことの証拠になるため、レポートの評価も高くなります。

自分の文章と他人の文章をはっきり区別する

引用するときは、その部分がほかの人の文章であることを必ず示します。下記の例のように、ほかの人の文章は「 」でくくって区別します。元の文章と一字一句間違っではいけません。引用文中略するときには「(中略)」などを入れましょう。「 」のあとには、著者名、発表年、ページなどを()でくくって示し、引用元が分かるようにします。

以上を踏まえると、メール機能は対人関係をコントロールし、「自分の好きなところに好きな相手と繋がる」(三宅、2005、p.142) ことを可能にしているように思える。

● 気をつけよう

他人の言葉や文章を引用するときには、必ず引用元を明示しなければなりません。そのまま無断で使用したり、HPから勝手に転載した場合には、剽窃や窃盗となり著作権法の違反行為になります。絶対に故意に使用したりしてはいけませんし、うっかり忘れることのないように注意しましょう！

▶ 引用が長くなる場合は

引用が複数行にわたる場合は、「 」でくくらず、前後を1行ずつ空け、引用文の左側を2文字空け区別します。

4 ゼミ発表の仕方

≫ ゼミ発表って何だろう？

●そもそもゼミってどんな授業？

大学には、「ゼミ▶(演習)」と呼ばれる形式の授業があります。10～20人ぐらいの少人数で行う、参加型の授業です。ゼミの目的は、あるテーマについて参加者が意見をかわしながら、理解を深めることです。調べたことを発表したり、学生どうしで議論したりすることが授業の中心になります。

千葉工大には、2年次に「課題探究セミナー」と呼ばれる課題解決型のゼミがあり、3年生以降の専門課程では**研究室▶**に所属して、それぞれの研究テーマについて理解を深めるためのゼミがあります。

研究室の詳しい情報は、<http://www.it-chiba.ac.jp/navi/#1>

●「自由発表」と「文献発表」

ゼミで、自分の調べたこと、考えたことを口頭で説明するのが「ゼミ発表」です。ゼミ発表には、大きく分けて「自由発表」と「文献発表」の2種類があります。

自由発表	あるテーマについて独自に調べたことを発表します。テーマは先生から与えられる場合と、自分で決める場合があります。
文献発表	1つの文献をゼミ参加者で分担し、自分の担当部分について、要約や批評をして発表します。「輪読」ともいいます。

▶ゼミ

「ゼミナール」というドイツ語が由来。ドイツの大学で、この形式の授業が行われていたことによります。

▶研究室

学内の先生の居室。3年生以降は研究室に所属して、それぞれの先生の指導のもと、実験や研究を行います。

≫ ゼミ発表をすることになったら

ゼミ発表をするには、本を読んだり、調べたり、**レジュメ**▶や**PowerPoint**▶(パワーポイント)のスライドを作ったりと、多くの準備が必要です。発表を成功させるためにも余裕をもって早めに取りかかりましょう。自由発表の場合、次のような手順で準備します。

●ゼミ発表の準備の手順

- ① 発表の形式を確認する(発表の種類、発表日時、持ち時間、使える設備)
- ② 何を取り上げるかを決める
- ③ 「問い」をたて、「主張」を決定する
- ④ 発表の構成を考える
- ⑤ レジュメを作る
- ⑥ リハーサルをする
- ⑦ 質疑応答に備える
- ⑧ レジュメの配布分を用意しておく

●ゼミ発表とレポートの違い

準備の手順で、「②何を取り上げるかを決める」から「④発表の構成を考える」までは、レポートを書くときの手順とよく似ています。実はゼミ発表とレポートは、口頭で伝えるか文章で伝えるかの違いだけで、調べて考えたことを説明するという点では同じなのです。ですから、テーマの決め方や資料の集め方、構成の考え方などはレポートの章も大いに参考にしましょう。→[レポートの書き方\(16ページ\)](#)

▶レジュメ

発表内容を簡潔にまとめたプリントです。発表を聞く人に配ります。

▶PowerPoint

マイクロソフト社のパソコンソフト。紙芝居のような資料を作成でき、プレゼンテーションによく用いられます。

≫ 発表の注意点

発表は友だちとの会話と違い、言葉が聞き取れなかったときに聞き直したり、意味が分からなかったときに説明を求めたりできません。聞き手の立場に立って聞き取りやすく、分かりやすい発表を心がけましょう。

●大きな声でゆっくりと

発表するときは、大きな声でいつもよりゆっくり話しましょう。早口だと聞き取りにくくなる上に理解が追いつきません。緊張すると、気づかないうちに早口になってしまうので落ち着いて間を大きく取りましょう。

●下を向かず聞き手の反応を見る

下を向いてしゃべると声が通りにくくなります。原稿やメモは、胸の高さで持ちましょう。また、原稿ばかりを見ていると棒読みになり、聞き手が退屈してしまいます。原稿を見ずに発表できたらいちばんですが、小さな区切りごとに一息入れて聞き手の顔を見回してみましょう。

●レジュメのどこについて話しているかを示す

内容の区切りごとに、「次に3の『快適空間の確立』に移ります」のように、レジュメのどこについて話しているかを示しましょう。

●制限時間を守る

制限時間を守らないと、授業の予定が狂ってしまいます。時計を見える場所に置いておき、時間の具合によっては省略できる話題を用意しておくといいでしょう。

≫ 質疑応答の注意点

●発表のあとは質問に答える時間

ゼミ発表は発表するだけで終わりではありません。聞いていた人からの質問に答える時間があります。その場で答えを考えていては、なかなかうまく答えられないので、準備の段階で質問を予想しておき、回答を考えておきましょう。

●まず質問の意図を確かめる

質問を聞いても、どういうことを尋ねているのかよく分からないことがあります。そのときは「～という質問ですか?」のように、自分で分かる表現に直して尋ね返し質問の意図をはっきりさせるようにしましょう。質問の意図が一度で分かった場合でも、「～という質問ですが…」と繰り返してから答えるようにすれば、まわりで聞いている人にも分かりやすいでしょう。

●回答は結論から簡潔に

質問に答えるときは、まず「○○です」と結論のみを簡潔に述べます。そのあとに、「なぜなら、～だからです」のように、そのような結論になる理由や詳しい説明を続けます。

●分からないときは、分からない理由をきちんと

調べていなかったり難しかったりして、答えられない質問もあると思います。調べて分かることならば、「次回までに調べてきます」などと答えましょう。

≫ 聞き手の心得

● いい聞き手はゼミ発表を盛り上げる

発表は聞く人がいてはじめて成り立ちます。特にゼミでは、発表のあとに**質疑応答**の時間が設けられることが多いですから、質問することがないか考えながら発表を聞きましょう。いい質問をすると議論が活発になり、内容の濃い発表になります。

● 発表者がいちばん伝えたいことを理解する

人の話を聞いて理解するということは、とても難しいことです。会話であれば聞き逃したり分からなかったりしても、その都度、確認できます。しかし、発表の場合は、聞き逃したからといって発表を中断させるわけにはいきません。聞き逃さないように集中が必要です。発表者がいちばん言いたいことは何かを考えながら聞くといいでしょう。



● 質問のためにメモをとろう

発表者が強調しているところや、自分でおもしろいと思ったところは、レジюмеに印をつけたりメモしたりしておきます。発表者の意見と自分の意見が違うところ、納得いかなかったところがあれば、あとで質問をぶつけてみましょう。

▶ 質疑応答

参加者全員に発言が求められることもあります。

第2部

学生生活について

1 充実した学生生活のために

- p.27 友人を作ろう
先輩が頼りになる
- p.29 学内施設
- p.32 課外活動にも参加しよう

2 学生生活を送る上での注意点

- p.33 遺失物・取得物
学内禁煙
- p.34 心に疲れを感じたら（学生相談室）
学内環境美化

3 学生生活を取り巻くトラブルに注意！

- p.35 突然の災害（地震・火災など）に見舞われたら？
盗難
- p.36 交通事故
アルコール・薬物
- p.37 悪質商法
- p.38 カルト宗教勧誘

1 充実した学生生活のために

≫ 友人を作ろう

大学は全国から学生が集まるので、入学時にまわりに知っている人がいなくて不安に思うかもしれません。でも、まわりの人も状況は同じなので、入学直後に行われるオリエンテーションなどで、積極的に声をかけてみるとよいでしょう。クラブ・サークル活動に参加すれば、出会いのチャンスはさらに広がります。大学時代の友人は、卒業後もかけがえのない仲間となってくれます。

≫ 先輩が頼りになる

大学では、先生が学生生活のことを手取り足取り教えてくれることはあまりありません。親しい先輩がいれば、大学生活のことから先生やゼミの特徴、定期試験の対策法まで、いろいろ教えてもらえるでしょう。クラブ・サークル以外にも、上級学年の人と一緒に授業も多いので先輩と親しくなるきっかけも多いと言えます。同級生との横のつながりだけでなく、先輩との縦のつながりも大切にしてください。

● 学習時間と時間管理

高校と大学のいちばんの違いは、大学ではいろいろなことを自由に決められるということでしょう。授業も受けるものを自分で選んで、「自分だけの時間割」を作ることができます。自分自身でしっかりと学習計画を立てて、有意義な時間の使い方をしましょう。

●春休み・夏休みの使い方

大学には、1ヶ月半ほどの長い夏休みと春休みがあります。この長期の休みを利用して、海外への短期留学やホームステイをすることができます。もちろん、ボランティアやアルバイトをすることもできます。さまざまな経験を積むことができるでしょう。

●学外活動

千葉工大では、海外での生活を体験したいという学生に向けて、毎年夏休みに「英語研修（グアム大学 / カリフォルニア大学アーバイン校）」や「中国語研修（国立台北科技大学）」などを実施し、参加者を募集しています。こうした短期留学のほかにも、半年間や1年間などさまざまなプログラムを用意しています。また、留学先で得た単位やプログラム修了証が単位として認められる場合もあります。

URL : <http://www.it-chiba.ac.jp/exchange/>

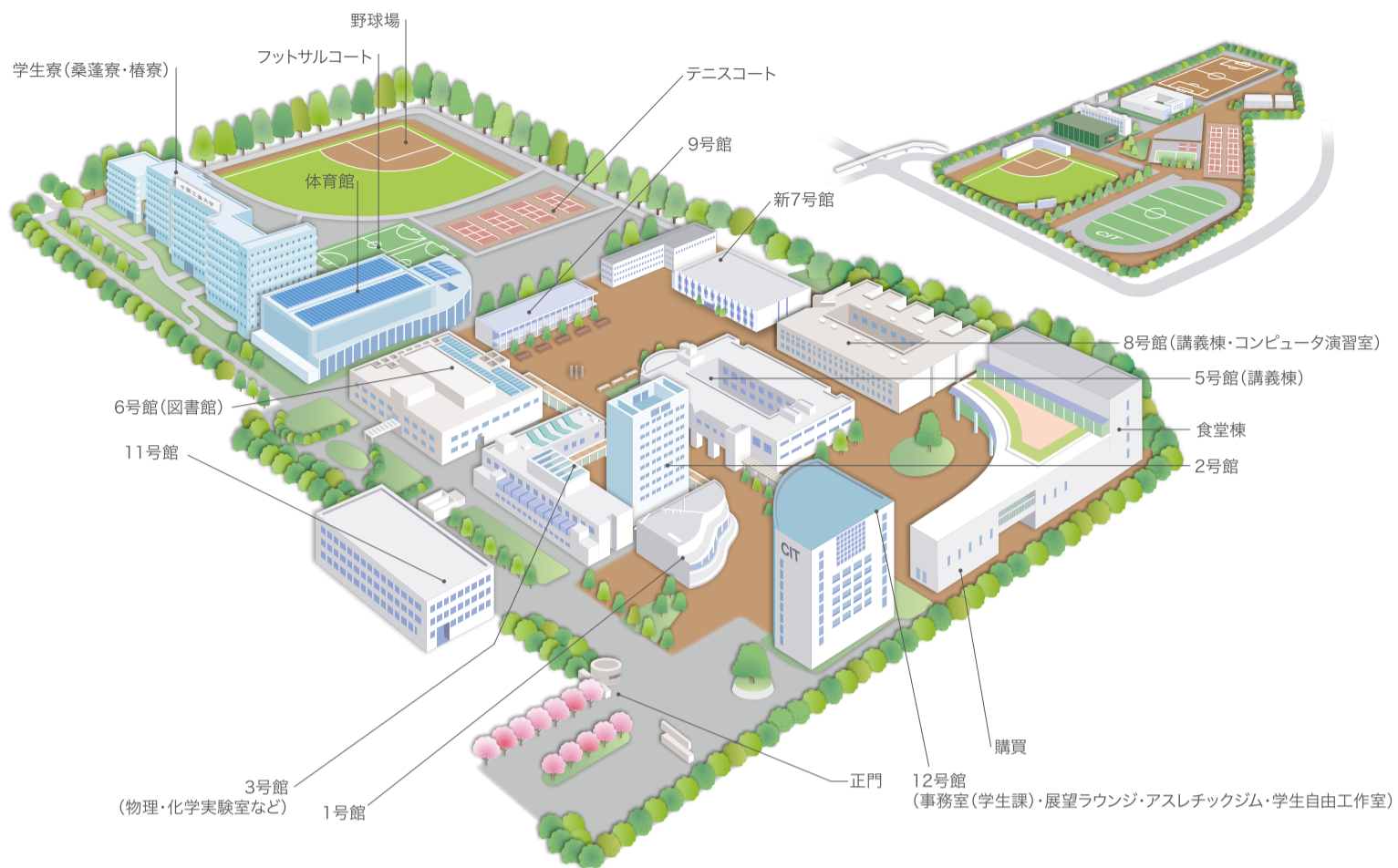
授業以外の時間でアルバイトを希望する場合は、求人情報サイト「学生アルバイト情報ネットワーク (aines)」に登録することでさまざまなアルバイトに応募することができます。

学生アルバイト情報ネットワーク (aines) URL : <https://www.aines.net/>

2014年に大学包括連携協定を締結した神田外語大学のさまざまな施設を利用することができます。図書館や体育施設、メディアプラザなど、利用可能な施設の詳細は下記 URL から確認してください。

URL : <http://www.it-chiba.ac.jp/media/topics151207.pdf>

≫ 学内施設



● 教学センターについて

千葉工大では、学生のみなさんが安心して学生生活を送れるように、日頃の相談窓口として、「教学センター」を開設しています。履修登録や各種証明書の申請だけでなく、いろいろな相談を受け付けていますので、何か分からないことがあったら12号館の1階にある「新習志野学生担当」「新習志野教務担当」を利用してください。

学生センター窓口取扱時間について

部署	電話番号	取扱時間	
		平日	土曜日
新習志野学生担当	047-454-9756	9:00～17:00	9:00～12:00
新習志野教務担当	047-454-9754		
新習志野保健室	047-454-9764	9:00～12:40 13:40～19:00	9:00～12:00

●保健室

授業中に具合が悪くなったり、体調のことで気がかりなことがあったら、気軽に保健室に行って相談しましょう。保健室は12号館1階にあります。

また、新年度の始めりに実施されている健康診断は、みなさんの体調管理のために大切ですので、毎年必ず受診してください。

URL : <http://www.it-chiba.ac.jp/support/support/counseling/>

●学生サポートセンター

授業を聞いても分からない、高校で物理・化学を勉強しなかったなど、勉学に悩んだら学生サポートセンターに相談しましょう。学生サポートセンターは10号館1階にあり、元高校教師などの専門スタッフのほか、「SA」という学部3年以上の先輩たちが待機しています。

困った時や疑問があったらぜひ利用してください。

●グローバルラウンジ

英語が苦手だけど話せるようになりたい、将来外国で働きたいなど英語を積極的に学びたいと思ったら、グローバルラウンジに行きましょう。

グローバルラウンジは12号館にあり、常にネイティブスピーカーがいるので、気軽にコミュニケーションを取ったり、補完授業を受けたりと、楽しく学習することができます。但し、事前の予約が必要ですので、下記URLから空き時間を確認し、利用しましょう。

URL : <http://www.it-chiba.ac.jp/global-rounge/>

(但しアカウントの作成が必要になります)

●アスレチックジム・運動場

12号館7階にあるアスレチックジムには、スカッシュコートやフリークライミングウォールがあります。さらに新習志野運動場など、運動ができる設備が充実しています。授業の合間などを上手に使って、体力作りに役立ててください。



●キャンパス外厚生施設（研修センター・PPA 厚生施設）

クラブ活動や研修に利用できる施設として、大学の研修センターのほか、PPAが契約している厚生施設が用意されています。施設の詳細については、大学のHPを見てください。利用にあたっては、事前に新習志野学生課に相談してください。

URL : <http://www.it-chiba.ac.jp/ppa/facility/>

≫ 課外活動にも参加しよう

大学にも高校と同じように、クラブ活動があります。おなじみの「〇〇部」以外にも、「△△同好会」や「××愛好会」といったサークルもあり、どちらも体育会や文化会という学生主体の自治会が運営しています。こうしたクラブ活動を通じて同じ趣味をもった仲間をたくさん作ることができますので、ぜひ参加してみてください。

また、「**大学祭**」や「**文化の祭典**」、「**成田山詣行脚**」や「**スポーツフェスティバル**」といった、クラブ活動以外の大学全体の行事もたくさんあります。積極的に参加しましょう。

URL : http://www.it-chiba.ac.jp/support/extra_activities/

5月 文化の祭典



5月 成田山詣行脚



10月 スポーツフェスティバル



11月 大学祭「津田沼祭」



▶文化の祭典

文化会サークルのイベント。例年5月に行われます。

▶成田山詣行脚

体育会主催のイベント。津田沼校舎から成田山新勝寺まで歩きます。

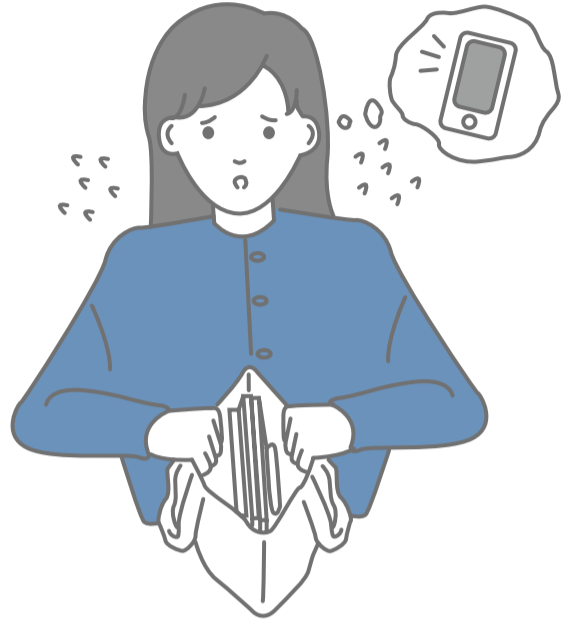
▶大学祭

「津田沼祭」が11月に行われます。

2 学生生活を送る上での注意点

≫ 遺失物・取得物

忘れ物や落し物をする人が数多くいます。自分の持ち物には必ず学生番号・名前を書くようにしてください。もし、学内で落し物を拾得した場合は、新習志野学生担当に届けてください。



≫ 学内禁煙

2003年に健康増進法が改正され、学校など多数の人が集まる施設では、**受動喫煙**の防止策を講ずることが求められています。千葉工大では、2015年4月より大学敷地内が全面禁煙になりました。学生と教職員の健康被害を考え、喫煙者には禁煙に向けた指導を行ってまいります。みなさんの協力でクリーンな大学にしましょう。



▶ 受動喫煙

タバコを吸わない人が、他人の吸ったタバコの煙を吸わされること。タバコから立ち上る煙は、タバコから吸い込む煙よりも有害物質が多い。

≫ 心に疲れを感じたら（学生相談室）

大学生活には期待も大きい反面、環境の変化などで不安なこともあるかもしれません。不安を感じた時には、家族や友人など、身近な人に相談することで気持ちが楽になることもあります。

千葉工大では、みなさんの悩みについて、学生相談室のカウンセラーがいつでも相談に応じています。誰に相談していいのかわからない場合でも、1人で抱え込まずに、家族や友人のほか、新習志野学生課や学生相談室に相談してみましょう。

URL : <http://www.it-chiba.ac.jp/support/support/counseling/>

また、もし大学生活に置いてハラスメントに関する、悩みがある場合は、新習志野学生課に相談してください。千葉工大ではハラスメント防止のための「ハラスメント防止委員会」を設置しています。

≫ 学内環境美化

校内はみんなが利用する公共の場所です。お互いに気持ちよく利用するために机の落書きやゴミを放置しないでください。ゴミは分別してゴミ箱に捨てるなど、学内の環境美化に協力しましょう。また、学生食堂の食器は食堂に返却してください。

●学生宛郵便・電話での呼び出し

学生個人宛の郵便物や宅配荷物は、一切受け付けていません。また、学外からの学生個人への電話呼び出しも受け付けていませんが、緊急の場合に限り、連絡します。

3 学生生活を取り巻くトラブルに注意!

≫ 突然の災害(地震・火災など)に見舞われたら?

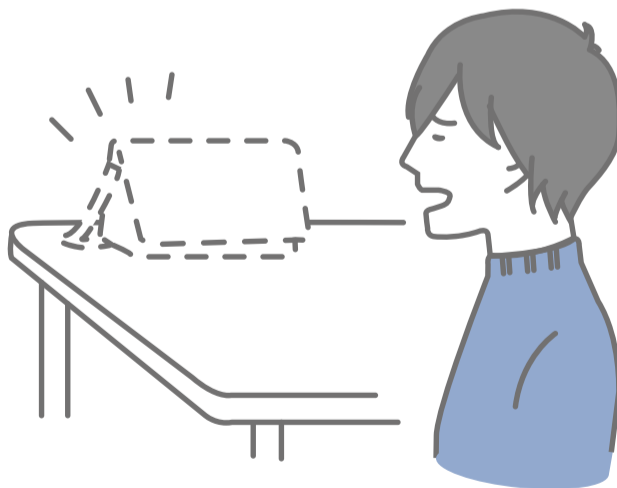
災害時には、まず自分の身の安全を確保して、被害を最小限にとどめることが必要です。千葉工大では、日常の防災意識を高めるために、地震・津波・火災などの災害発生時の緊急対応方法をまとめた「防災対応マニュアル」を作り、ウェブサイトで公開しています。このマニュアルをよく読んで、日ごろから非常時の対応を意識しておきましょう。また、学内では避難訓練も実施していますので、その際は積極的に参加するようにしましょう。

URL : <http://www.it-chiba.ac.jp/media/bosai2017.pdf>

※ iPad mini 内 cit Library からも見ることができます。

≫ 盗難

残念ながら、学内で盗難が多発しています。その多くが教室や図書館、食堂、体育館で、バッグなどを置いたままその場を離れたわずかな間に、財布やゲーム機を抜き取られたり、バッグごと持ち去られたりというケースです。どんな場合でも貴重品は携行し、バッグなどを置いたままその場を離れないでください。体育館使用時は、貴重品をロッカーには入れずに、運動をする場所まで持って行ってください。また、駐輪場での盗難も増加しています。複数のカギをかける(ツーロック)等の盗難防止対策に努めましょう。もし盗難にあってしまったら、新習志野学生課へ報告してください。



≫ 交通事故

千葉工大では、自転車やバイクでの通学を許可しています(駐輪は登録制です)。交通ルールを守り、日ごろから安全運転を心がけてください。また、バイクを安全に運転する技術を高めることを目的として、定期的に「二輪技術講習会」を実施しています。バイクで通学する人は、必ず受講するようにしてください。

もし万が一事故にあってしまったら、新習志野学生課に連絡してください。

≫ アルコール・薬物

言うまでもなく、満20歳未満の未成年者が飲酒することは、法律で禁じられています。新入生歓迎会などでムリヤリ飲まされ、急性アルコール中毒で命を落とすこともあります。20歳まではお酒のデンジャラス・ゾーンに踏み込まないようにし、20歳を過ぎても無理な飲み方や、他人への飲酒強要はしないでください。

また、ニュースなどで報道されているとおり、大麻や覚せい剤、危険ドラッグなどの違法薬物による事件が社会問題化しています。「自分には関係ない」と思っている、知らず知らずのうちに薬物の危険は身近に迫っています。みなさんも「No!」と言う勇気をもって、絶対に薬物には手を出さないようにしましょう。

アルコールや薬物については、正しい知識を身につけておくことが大切です。学内外で講習会が開かれていますから、積極的に参加しましょう。



≫ 悪質商法

社会では、見知らぬ人に対し、言葉巧みに近寄ってきて、悪質なセールスを行うケースがあとを絶ちません。悪質業者は、さまざまな手口を使ってあなたを狙っています。このようなトラブルに巻き込まれると、お金をだまし取られるといった経済的な損害だけでなく、精神的にもたいへんな苦痛を強いられるので、日ごろから十分に注意してください。下に悪質な勧誘の例を示します。このような悪質な商法に対しては、消費者保護制度（クーリングオフ制度▶）があるので、万が一被害にあった場合には、ひとりで悩まずに、新習志野学生課に相談してください。

● 悪質商法の例

マルチ商法	友人・知人に紹介するともうかると誘い、健康食品などを売りつける商法。
アポイント商法	電話やハガキで「当選した」「記念品がある」と言い、ビデオ教材などを買う契約をさせる商法。
キャッチセールス商法	路上・駅周辺などでアンケートや無料診断などと言って呼び止め、化粧品などを売りつける商法。
かたり商法	役所の人間などを装い、無知につけこんで消火器などを売りつける商法（役所は直接物を売りません）。
資格(士)商法	行政書士など各種資格の取得を名目に、受講料をだまし取る商法。

▶ クーリングオフ制度

訪問販売や電話勧誘販売などで購入の申し込みや契約をした消費者が、一定期間であれば無条件に申し込みの撤回や契約の解除ができる制度。

≫ カルト宗教勧誘

千葉工大では、学内における一切の宗教勧誘活動を禁止しています。学内でこのような活動を見かけたり、勧誘を受けたりした場合には、迷わず新習志野学生課まで連絡してください。また、「昼食会をやるので来てほしい」などといった誘いがあっても、安易に携帯電話番号やメールアドレスの交換を行わないよう心がけましょう。

